

## 11 地方勤務（地方自治体、都道府県労働局）

## 地方自治体

社会保障政策や労働政策は、実際に制度を運用し、サービスを提供している地方自治体との連携なくしては円滑には行うことができません。数理職員も地方自治体に出向し、実際に業務に携わることで、厚生労働行政が地方行政に与える影響の大きさを体感できます。国の政策が現場でどのように取り組まれているのかを間近で見聞きするとともに、地域のニーズを把握し、地域に根ざした課題の解決にじっくりと取り組んでいくなど、国における政策立案とひと味違うアプローチが出来る点が、地方自治体で働く醍醐味です。

## 秋田県湯沢市（福祉保健部政策監兼地域共生サミット準備室長）

遠藤 秀剛

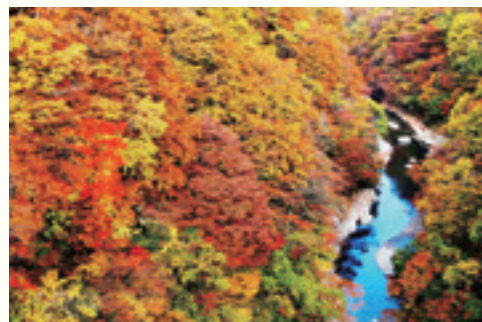
湯沢市は秋田県の県南に位置する人口が約4万5千人の市です。秋田県は今、日本一高齢化が進んで人口が減っており、湯沢市も高齢化率は40%目前、人口は10年間で約1万人も減少しています。また、年間積雪期間が100日を超えるような豪雪地帯でもあり、住民の皆さんは当たり前のように歩道の除雪や屋根の雪下ろしをしています。私からすると冬季の生活はとても大変です。

私はここ湯沢市で主に地域福祉の業務に携わっています。特に昨年の後半からは、今年の10月に湯沢市で開催を予定している「地域共生社会推進全国サミット」という地域福祉やまちづくりなどの関係者が全国から集まる大会の準備を担当しています。誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心していきいきと活躍できるようなまちにするために、現在本省を中心に進めている「地域共生社会」の実現に向けて、第一線ではどんな課題があり、今後こういった取組みを進めていったらよいのか、日々悩みながらも、住民の方々と交流した

り、市内を自分の足で見て回って勉強しながら、充実した毎日を過ごしています。

地方での生活は本省に比べれば不便が多いのも事実ですが、その苦労を補っても余りあるほどの貴重な経験ができますし、かけがえのない人のつながりができます。

最初のうちは明かりがないと思っていた夜景も、今では星が綺麗だと思うようになりました。



小安峡の紅葉

## 都道府県労働局

都道府県労働局は、労働行政の第一線機関である労働基準監督署、公共職業安定所（ハローワーク）を取りまとめ、管内における労働行政の企画等を行っています。専門的な職務に限らずキャリアパスの一環として、数理職員は、労働局の総務部、労働基準部、職業安定部などにも配置されます。

## 石川労働局（労働基準部長）

篠山 賢一

石川労働局労働基準部は、安心して働くことができる労働環境の確保を目標に掲げ、県下4労働基準監督署とともに、長時間労働是正を始めとする働き方改革の推進、最低賃金制度の適切な運営、労働災害防止・健康確保対策、労災補償の迅速かつ公正な実施等を行っています。



安全パトロールにて（右から2番目）

労働基準部長は、部内を統括するとともに、スポークスマンとして審議会ほか各種会議で施策・法律の説明や、施策の進捗・効果等について説明を行います。

説明で使うデータが間違っていないことは当然ですが、それをわかりやすく、誤解されない図表を使って説明することが、数理的思考が役に立つ現在の場面です。

平成30年、石川県で工作中に亡くなられた方が14名と3年連続の増加となりました。死亡災害を根絶したいという思いで、安全パトロールのために私自身が事業場へ赴いて、労働災害防止の好事例をマスコミに向けて紹介し、労働災害防止の呼びかけを行いました。テレビ放映のために初めて囲み取材を受け複数のマイクの前で話すという経験をしました（地元のニュースで放送されました）。もともと早口なのでゆっくり話すように気を付けるのですがなかなか難しいです。

宮城、島根、現在の石川と労働局勤務3か所目、カキ、ブリ、カニ他魚介類のおいしいところばかり、引越は面倒ですがいろいろな方や物と知り合えるいい機会となっています。